



海守牛深会代表の中村さん

天草の“スゴか人”が決定！

天草スゴか人グランプリ

3月3日、「第1回天草スゴか人グランプリ」の表彰式が天草市民センターで行われ、牛深町で海岸清掃に取り組んでいる海守牛深会（中村富人代表、会員31人）と、本渡港で観光客のお出迎えとお見送りをしている天草プリンスホテルの職員の皆さんが同グランプリに輝きました。

この賞は、市や（一社）天草宝島観光協会などが実施する“天草島民総おもてなし運動”の企画のひとつとして、市内でおもてなしに取り組んでいる個人・団体を表彰しようと設けられたもの。中村さんは「今までの活動が認められて感動しています。海へのごみの投棄がなくなるように期待しています」、天草プリンスホテルの女将の國武裕子さんは、「職員が一生懸命がんばってくれたからこそいただいた賞です」と喜びを語っていました。



天草プリンスホテルの女将の國武さん

ずらりと並んだ牛深の海の幸を堪能

うしぶか海食祭2014

3月2日、「うしぶか海食祭2014」がうしぶか海彩館で開かれ、約3,000人が来場しました。会場には、牛深で養殖されたマグロの刺し身やブリのカマ焼き、フグのから揚げなどがずらりと並び、来場者は海の幸を堪能していました。また、特設ステージでは「第3回創作牛深ハイヤ踊りコンテスト」が行われ、6団体が参加。軽快なリズムに合わせた踊りが披露されると、会場から歓声が上がっていました。



特産品販売のようす



「地域の活性化につながるような観光を考えることが大事」と話す伊原さん

地域ならではのまちづくりを考える

五和地区まちづくり講演会

「五和地区まちづくり講演会」が2月27日、教育旅行コンサルタントの伊原和彦さんを講師に招いて、五和漁村センターで開催され、地元の観光業者や地区住民など60人が参加しました。伊原さんは、受け入れる地域（着地側）が企画した、地域ならではの体験ができる“着地型観光”の重要性などについて話され、参加者は熱心に聞き入っていました。

市民とともにより良い天草市を

市行財政改革審議会が提言書を提出

2月28日、市行財政改革審議会（澤田道夫会長ほか委員9人）の中川竹治副会長ほか委員5人が市役所を訪れ、安田市長に「第2次天草市行政改革大綱の推進に関する提言書」を提出しました。平成28年度からの地方交付税の段階的な減額による、財政運営の見直しや職員の意識改革など、平成26年度以降も行財政改革の確実な実行を要望する内容になっています。なお、提言書の詳細については、本庁・行財政改革推進課や各支所担当課で見ることができると、市のホームページにも掲載しています。



安田市長に提言書を提出する中川副会長（左）

不知火海などの眺望を堪能！

鳥峠パノラマ・ウォークin御所浦

2月11日、「鳥峠パノラマ・ウォークin御所浦」が御所浦島開発総合センターをスタート、鳥峠山頂をゴールとする5.3kmのコースで行われ、市内外から約300人が参加しました。

この日は天候に恵まれ、参加者はウォーキングと登山マラソンの部に分かれて思いおみのペースで山頂を目ざし、ゴール後は、不知火海や鹿児島県、長崎県などを見渡せる眺望を堪能。豚汁やおにぎりのふるまい、御所浦の特産品が当たるお楽しみ抽選会も行われ、楽しいひとときを過ごしていました。



山頂からの眺望を堪能する参加者たち

いつまでも元気で長生きしてください

島子地区振興会「雑寿司配布事業」

有明町の島子小学校5・6年生26人と島子婦人会の会員が3月3日、地元の1人暮らしの高齢者宅55軒を訪問し、婦人会が桃の節句にちなんで作った雑寿司と、児童たちが育てた花の苗と手紙を贈りました。同事業は、島子地区振興会が高齢者への声かけと世代間交流を目的に、毎年実施しているもの。児童たちが「これからも元気で長生きしてください」と雑寿司を手渡すと、高齢者は「ありがとうございます。おいしいいただきます」と笑顔で受け取っていました。



雑寿司を手渡す児童